

【獣医学部 獣医学科】

2026 年 2 月 3 日実施 一般入学試験（第Ⅰ期）B 日程

出題の意図

【化学】

化学は様々な物質の構造や性質、変化を原子あるいは分子レベルで理解する科目で、生命科学や獣医学を含めて科学分野全般の基盤となっています。多様な物質の構造・性質・変化（化学反応）の法則性を理解するためには、化学を構成する理論、無機、有機の分野における知識と計算や原理に基づく論理的思考の両方が重要です。本年度の化学の出題では、14 問の大問を通じて理論、無機、有機の幅広い知識、理解力・論理的思考力を問うことを意図しました。また、実験結果を正しく把握し得られた結果に基づいて考察できる力は、科学を探究するために必要な技能であり、この点も問うことを意図しました。

【生物】

本学獣医学科の目的の一つである【獣医師としての科学的思考力と応用能力を展開させることができる人材の養成】に応えることができる能力を判定する試験問題を出題しました。科学的思考力や応用能力は、いうまでもなく基礎的知識に基づくものになります。そのため試験問題は、教科書に記載のある用語やグラフに関する基礎的知識を問う問題と、科学的思考力や応用能力を養うために必要となる考察力や読解力を判定する問題をバランスよく出題しました。考察力や読解力を判定する問題は、初見のグラフや、実験結果として得られた複数の情報（数値や文章）を元に、生命現象を論理的に解釈できるか否かを確認する内容のものとなります。

【数学】

数学は自然科学の基礎であり、科学技術に用いられるばかりでなく人間文化の様々な領域で活用されています。実験結果を客観的に分析し、現象を合理的に表現・予測するためには数理的能力が必要不可欠です。本学を受験しようとする皆さんには、高等学校学習指導要領に基づく基本的な数学の知識と技法の習得に加え、既知の知識を組合せながら筋道立てて解決する力を養ってほしいと考えています。本年度の数学では、基礎的な理解力と論理的思考力を問うことを意図しました。

【英語】

Ⅰ期および、Ⅱ期ともにほぼ共通の意図で問題構成をしております。Ⅱ期については、Ⅰ期では長文を2題、Ⅱ期では長文1題に短い文章を1題としています。出題のコンセプトはほぼ同様となります。

外国語の学習は、まずは母国語とは異なる文構造への理解が基本であると考えられます。語彙習得については、その意味でさらに基本になります。また品詞の持つそれぞれの機能・文法事項は統語を理解する上でも重要になります。論理構成が整った内容の文章を読み、理解することは英語学習で重視されることであり、高等学校の学習指導要領の「論理」に関連する事項として大事なことです。論理的な文章を正しく読み解くことは、言語活動全般においても将来的に有効であると考えています。長文における論理

展開においては、問題提起となる部分、転化を導く内容、強調される主旨、あるいは筆者の説く主張が含まれるようになっています。この内容の流れを限られた時間で的確に処理し、理解することが求められます。文章読解は、あらゆる学習に通じた技術でもあり、学業と社会生活においては必要なことと考えています。文法事項、語彙、論理、内容理解、主旨内容についての思考力など、総合的な英語学習の習得を測ることを意図しております。

対話文における両者の会話内容を正確に把握することは、簡潔な言葉の遣り取り＝コミュニケーションの力を問うものです。このことは要領にも示される「コミュニケーション」の内容に関連することでもあります。実際の言葉の伝達というのは、日常生活・社会活動については重視されることです。発信される内容を正確に理解することを求める出題としています。とくに英語学習においては、日常的なイディオムについての学習も求められますし、基本動詞に関連する語法は多岐にわたるため、これらの学習が身についているかを測ることが求められると考えています。高等学校までで学習する、「対話による言葉の遣り取り」への理解を測ることを意図しています。